

普及現地情報

発信年月日：平成25年(2013年)8月27日
所属名：甲賀農産普及課
番号：C13017
部門分類：610 担い手育成
発信者名：竹若、伊地智

甲賀市、JAと指導農業士が意見交換

去る8月19日、指導農業士会甲賀支部の主催により、甲賀市、JAこうかの担当課長を招き、「甲賀農業の現状と課題」について意見交換会を開催しました。管内の指導農業士26名のうち14名の出席があり、関係機関をあわせ合計22名が参加しました。

事務局から当管内の現状報告の後、指導農業士お二人から「土地利用型」、「土山の茶業」について話題提起していただき、意見交換を行いました。主な意見は次のとおりです。

- 土地利用型作物の他に野菜や6次化の取組を開始し、充実を図っている。園芸は日々情勢が変わるので、的確な情報提供と販売に関する支援がほしい。
- 若い農業者育成のため、小さいうちから農業体験ができる研修の場が必要。
- 安心して加工事業に取り組めるよう、販売先も含めJAの支援が必要。
- 土山茶は今年凍霜害による収量減もあり、従来より売り上げが大幅に低下している。茶の価格決定が不透明であり、流通改善が必要。
- 京都、三重、奈良など近隣府県に比べ、本県は茶業に対する支援策が少ないと感じる。
- 茶は改植すると5年程度は無収入になる。財政的に支援してほしい。

その他にも、経験を踏まえ、活発に意見が出されました。

当課としては、今後も指導農業士会と連携し、今回の意見を今後の農業振興の参考にしていきたいと考えています。



活発に意見を交換する指導農業士と関係者